

平成 25 年度 柏崎市刈羽郡生徒指導研究部 活動報告

部長 茂木 徹(内郷小)

1 研究主題

「豊かな人間性と社会性を育む生徒指導のあり方」
～小中一貫で「いじめ見逃しゼロ県民運動」の推進を通して～

2 研究の概要

研究主題を受け、今年度の重点事項を以下の3点として研究を推進した。

- 道徳的実践力を身に付け、よりよい生活を送る態度や能力を培う活動
- 互いに認め合い支え合う人間関係の中で、社会性を身に付ける生徒指導
- 毅然とした指導を基盤とし、校内情報連絡体制や家庭との連携を密にする生徒指導体制の構築

3 研究の実際

(1) 学校教育研究会生徒指導研究部としての主な取組

- ① 柏崎刈羽地区小・中学校生徒指導担当者会議 (5/23) 会場：柏崎市立第二中学校
平成 25 年度の研修・事業計画等について、実務に携わる生活指導主任・生徒指導主事が集まって審議した。管内の「暴力行為・いじめ・不登校」の現状や問題行動の傾向や要因等について、柏崎市教育委員会の生徒指導担当主事からご講演をいただいた。併せて、今年度取り組む「いじめ見逃しゼロ」事業について、担当者間の理解を深めた。
- ② 柏崎刈羽地区小・中・高等学校生活指導連絡協議会 (10/17) 会場：柏崎市教育センター
現在、児童・生徒の中で使用方法の問題やネットトラブルが起きている SNS の利用について、その実態を把握するとともに、小・中・高の指導のあり方や問題点等について情報交換を行った。特に、各種通信・情報機器の利用の現状や問題点について、柏崎市教育センター情報指導主事、田村実先生から講演をいただいた。多くの参加者がそれぞれの年代の実態を共有するとともに、校種を越えた連携の必要性を感じた。

(2) 柏崎市刈羽村教育委員会と連携した取組

- ① さわやか学校プロジェクト (9/10) 会場：柏崎市民プラザ
柏崎市教育委員会と柏崎市刈羽郡学校教育研究会生徒指導研究部が共催で、小中連携のあり方について協議する場として実施した。第1部では、すべての児童生徒が、夢と希望をもって学校に登校できるよう、小中学校が連携した積極的な生徒指導（主として不登校の未然防止対策）について協議を深めた。第2部では、東京都町田市教育センター教育アドバイザーの山本修司先生をお招きし、「生徒指導上の諸問題の未然防止と初期対応」と題したご講演をいただいた。経験に基づいた事例を含めて、大変分かり易く効果的なご指導をいただいた。
- ② 「小中一貫教育・柏崎方式」による中学校区を単位とした生徒指導の取組
市内7中学校区がそれぞれ、豊かな人間性や社会性を育む小中一貫教育について、具体的な取組内容を協議し合った。特に、学力向上の基盤としての生徒指導を大切に、互いに認め合い支え合う人間関係構築の活動や一人一人をいかす取組について活動を推進した。併せて、「いじめ見逃しゼロスクール」を各中学校区で創意工夫して開催し、児童生徒が中心となったいじめ根絶活動の推進に取り組むことができた。

4 成果と課題

今年度は、柏崎市刈羽村教育委員会と連携した取組を中心に行ってきた。特に、小中一貫教育推進に予算的措置が講じられたことにより、各中学校区で、これまで以上に連携した活動を行うことができた。結果として、市全体の不登校傾向児童・生徒の減少を実現させている。その要因として、各校・各中学校区が目的を共有し、全職員で児童生徒に豊かな人間性と社会性を育む生徒指導を進めてきた成果だと考えられる。今後も、中学校区を中心に成果や課題を共有し、有意義な活動を進めていく。